

学習・教育目標と
JABEE基準との対応

学習・教育目標				JABEE基準1の(1)														
記号	キーワード	目 標	具体的な目標	a	b	c	d-1	d-2(a)	d-2(b)	d-2(c)	d-2(d)	e	f	g	h			
A	人類の幸福	地球環境や人間社会と技術との調和を視野に入れて人類の幸福を考え、技術者倫理を理解し、責任ある行動のとれる技術者の育成	(A-1) 自国と他国の社会と文化の違いを認め、健全で多様な価値観を理解できる。(健康・誠実)	◎														
			(A-2) 技術者倫理を理解し、技術者として責任ある行動をとることができる。(責任)	○	◎													
B	工学基礎知識の修得	生産の現場に不可欠な実践的かつ専門的な知識と技術を有する技術者の育成	(B-1) 数学、自然科学および情報技術に関する基本的知識を修得できる。			◎												
			(B-2) 基礎工学と専門基礎の知識や技術を修得し、基本的な現象やシステムにおける問題の解析や説明ができる。			◎		◎										
C	専門的知識の充実	自ら問題を発見・解決する能力を備え、生涯に亘って自ら学ぶことのできる自己啓発型技術者の育成	(C-1) 得意とする専門分野の問題を解決することができる。(自立)					◎										
			(C-2) 実験・実習科目を通して実践的な知識を身に付ける。						◎				○					
			(C-3) 企業での実体験などをもとに、地域や社会の要求している内容を理解できる。(協働)			○							◎					
			(C-4) 限られた時間内で、個別に、あるいはチームワークによって、技術的な課題や問題を発見し解決することができる。(協働・挑戦)										○		○		○	◎
D	コミュニケーション能力	産業社会におけるグローバル化に対応するため、正しい日本語で表現(記述・口述・討論)し、かつ国際的に通用するプレゼンテーション能力を持つ技術者の育成	(D-1) 正しい日本語で表現(記述・口述・討論)することができる。										◎					
			(D-2) 英語によるコミュニケーションに必要な基本的能力を身に付ける。	○											◎			
E	技術の発展	複雑で多岐に亘る工業技術分野に貢献できる技術を有し、学際領域にも対応できる能力を備えた技術者の育成	(E-1) 専門領域および複合領域の専門知識を統合して、目的を達成するための問題解決とデザインに寄与できる。(挑戦)							○		◎		◎		○		
			(E-2) 技術分野の問題を理解し、自主的に学びながら、開発・研究を行ってゆくことができる。(創造、研究)								○		○		○		◎	